

発行 豊頃町  
〒089-5392  
中川郡豊頃町茂岩本町125番地  
☎015(574)2216  
発行日 2014年12月1日  
編集 豊頃町企画課広報情報係

今月の表紙



今月の表紙は、11月16日に行われた「豊頃小学校学習発表会」の様子です。どの子どもも一生懸命日ごろの練習の成果を発揮していました。

役場などの連絡先

- ◆役場  
☎(574)2211(代表)・FAX(574)3750(総務課)
- ◆各課等(ダイヤルイン)  
総務課 ..... ☎(574)2211  
出納室 ..... ☎(574)2212  
住民課 ..... ☎(574)2213  
福祉課 ..... ☎(574)2214  
施設課 ..... ☎(574)2215  
企画課 ..... ☎(574)2216  
産業課 ..... ☎(574)2217  
農業委員会 ..... ☎(574)2218  
議会事務局 ..... ☎(574)2222  
教育委員会(教育課) ..... ☎(579)5801  
(図書館) ..... ☎(579)5802
- ◆支所・出先機関・町内関係機関  
大津支所 ..... ☎(575)2021  
こどもプラザとよころ ..... ☎(574)3931  
給食センター ..... ☎(574)4600  
社会福祉協議会 ..... ☎(574)3143
- ◆地域情報通信基盤施設の故障受付窓口  
NTT東日本データセンター ☎0120(860)023  
[24時間 365日受付]

ホームページ

豊頃町  
<http://www.toyokoro.jp/>  
豊頃町社会福祉協議会  
<http://www.h3.dion.ne.jp/~toyo-sha/>

豊頃町の人口と世帯

10月31日現在(前月比)  
住民基本台帳に基づく  
人口 3,372人(-11)  
男 1,622人(-6)  
女 1,750人(-5)  
世帯 1,511世帯(-6)

町内の交通事故

平成26年1月1日  
～11月10日(前年比)  
交通事故死ゼロ300日  
発生 4件(+1)  
死者 1人(-1)  
傷者 3人(0)

目次

CONTENTS

- 02 町制施行50周年記念連載  
**豊頃町町制施行50年の歩み**
- 広報とよころ
- 04 Info-TOPICS ①「総合体育館に新しいトレーニング器具を導入しました」
- 05 Info-TOPICS ②「ご家庭における節電のお願い」
- 06 「嚙下障害をご存知ですか？」
- 07 Info-TOPICS ③「12月14日は衆議院議員総選挙、最高裁判所裁判官国民審査の投票日です」
- 08 特集 豊頃の台所事情
- 12 豊頃町の児童・生徒の学力や生活習慣は？
- 14 はるにこれは見ていた「町文化祭」ほか
- 17 豊頃医院だより「認知症の検査」  
SisterCity Summerland Review
- 18 健康だより「健診を受けましょう!!」
- 19 駐在だより「年末における犯罪のない地域づくり」ほか  
地域安全推進協議会活動通信「高齢者世帯家庭訪問を実施しました！」ほか
- 20 みんなの図書館「10冊貸し出しを行います」ほか
- 22 町民文芸 - 我が家のアイドル
- 23 社協だより
- 24 社協会費納入にご協力ありがとうございます  
ほっとサロン交流会
- 25 第33回ふれあいフェスティバルが開催されました
- 27 ボランティアミニ愛ランド・ボランティア愛ランド  
福祉団体
- 28 ガンバルーン体操基礎講座受講者募集
- 役場だより
- 29 INFORMATION ◎目次あり  
主な施設の行事予定 ほか

裏 とよころカレンダー

告知 「年末年始休業のお知らせ」

「必ずチェック 最低賃金! 使用者も 労働者も」

北海道最低賃金

時間額 748円

平成26年10月8日発効

北海道内で事業を営む使用者およびその事業場で働く全ての労働者(臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む)に適用される北海道(地域別)最低賃金が上のとおり改正されました。  
厚生労働省 北海道労働局 労働基準監督署(支署)

町制施行50周年記念連載

豊頃町町制施行50年の歩み

第一回 町制施行までの歩み

本町に和人として最初に移住した人は、北海道の漁業にあらがれ、文久3年(1863年)に大津村に来住した青森県の堺千代吉であると言われています。明治13年に十勝外四郡戸長役場(現在の町役場の前身)が設置された時を大津の開基とし、明治30年に函館大津間の航路が開かれると、大津は十勝の玄関口として大いに賑わい、「十勝発祥の地」として繁栄していきます。

明治29年に理想的な開拓地を求め十勝を訪れた二宮尊親一行は幾多の苦難の末ウシシユベツ原野を発見。明治30年に二宮農場として開墾し、現在の豊頃町の礎を築きました。

昭和30年、当時の大津村の特殊な地理的要因から、住民の希望もあり、紆余曲折を経て全国的にも珍しい三分割により大津村の中心部を編入。昭和27年の十勝沖地震以後続く冷水害などのため大変な赤字財政に苦しむことになりましたが、次第に健全財政団体として本来の姿を取り戻し、以後各分野において著しい発展を遂げていき、経済事情も好転を続け、昭和39年当時には戸数19,044戸、人口1万7,800人を数え、町並みの形態を整えるまでに発展。

これを受け、昭和39年10月13日の道議会で町制施行の議決がなされ、翌40年1月をもって町制が施行。ここに大津村、豊頃村の歴史と伝統を受け継いだ新生「豊頃町」としての50年の歴史が幕をあげました。



町制施行当時の茂岩市街



町制施行を祝う小中学生の祝賀旅行列



△大津村の開基70年を祝う人々  
▽町制施行を知らせる当時の広報とよころの紙面



△昭和27年の十勝沖地震によってできた大津海岸の亀裂

▽豊頃町が施行 村民代表の豊頃町実現については、9月28日町議会において議決、10月2日道総務委員一行本村を視地調査、ついで10月13日道議会において議決、11月2日大津啓示によつていよいよ町制施行が決定、1月1日の発効を期して「豊頃町」が誕生された。



豊頃町は平成27年1月1日で町制施行50周年を迎えます。昭和40年に町制施行されてからの本町の歩みを写真を交えながら紹介していきます。

略年表

- 略年表
- 文久3年 堺千代吉、大津に初めて定住
- 明治8年 漁場開設
- 明治13年 十勝外四郡戸長役場大津に開設
- 30年 二宮尊親一行、二宮農場を開く
- 37年 十勝水産組合できる
- 40年 大津漁業組合発足
- 昭和7年 十勝川治水工事着手
- 8年 豊頃村産業組合発足
- 12年 豊頃村、大津村に商業組合設立
- 15年 豊頃橋架橋に伴い、渡船禁止
- 17年 豊頃村、大津村に森林組合設立
- 22年 公選による町長選挙執行(四月)
- 23年 豊頃村、大津村に農業協同組合発足
- 24年 豊頃村開基70周年記念式典挙行
- 25年 豊頃村開基五十周年記念式典挙行
- 27年 十勝沖地震発生
- 30年 大津村合併により大津村中心部を編入
- 35年 チリ沖地震津波で大津に被害
- 36年 豊頃町商工会設立
- 38年 茂岩橋竣工
- 40年 農業構造改善事業実践町村に指定
- 40年 長節厚生花園、道天然記念物に指定
- 町制施行